

民生福祉常任委員会記録

平成30年10月1日

【開催日】 平成30年10月1日

【開催場所】 環境衛生センター大会議室及び第2委員会室

【開会・散会時間】 午前10時～午後3時25分

【出席委員】

委員長	吉永美子	副委員長	山田伸幸
委員	大井淳一郎	委員	杉本保喜
委員	恒松恵子	委員	松尾数則
委員	矢田松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰		
----	-----	--	--

【執行部出席者】

市民部長	城戸信之	市民部次長兼市民生活課長	藤山雅之
環境課長	木村清次郎	環境衛生センター所長	池田康雄
環境衛生センター所長補佐	川野道男		
病院事業管理者	矢賀健	病院局事務部長	堀川順生
病院局事務部次長兼医事課長	岡原一恵	病院局総務課長兼庶務係長	和氣康隆
病院局総務課課長補佐兼経理係長	藤本義忠	病院局総務課経理係主任	村上陽子
病院局医事課医事係長	佐々木秀樹		

【事務局出席者】

事務局長	中村聡	議事係主任	原川寛子
------	-----	-------	------

【付議事項】

- 1 所管事務調査 廃棄物の処理について
- 2 所管事務調査 病院事業報告について

午前10時 開会

- 1 所管事務調査 廃棄物の処理について

【議事の概要】

議会報告会が出た意見「旧小野田と旧山陽のごみ収集日の違い」に対する説明

- ・山陽地区の燃やせるごみの収集は業者委託で、収集ルートや燃やせないごみの回収日との兼ね合いから、小野田地区と山陽地区の回収日の統一や新

たな曜日設定は難しい。

- ・山陽地区で祝日の回収ができない場合は、前後に振替日を設けて対応している。

【主な質疑】

大井淳一郎委員 合併前の山陽地区の収集体制はどうだったのか。

川野環境衛生センター所長補佐 合併前は変則の基本週2回で、1回と3回収集するところがあった。合併した時点で統一して週2回にした。

大井淳一郎委員 祝日は集めず、振替だったのか。

木村環境課長 振替が過去にもあったような気はする。

大井淳一郎委員 小野田地区は週3回を2回にする中で市民の不満もあり、祝日も集める対応をしたと記憶している。月曜日が祝日法の関係でネックだと思うが、月曜日を変えるということは検討したのか。

木村環境課長 今の3パターンできれいにスケジュール的にはまっている。月曜日の祝日も回収できないか業者に聞いているが、職員の増員が必要で体制が整わないことが考えられる。小野田地区と曜日を統一すると受入量が一気に増え、焼却が大変という理由もある。

大井淳一郎委員 2日にわたり振替収集するよりは、祝日に収集したほうがいいのではないか。祝日に間違えてごみを出すこともある。

木村環境課長 業者もいろいろと職員のローテーションを組んでやってもらっている。旧山陽町は今の体制に慣れているのか、年に数件程度の間合せ状況である。

山田伸幸副委員長 小野田地区と山陽地区を走っている車の台数はどうか。

木村環境課長 可燃ごみは小野田地区が9台、粗大ごみが5台。山陽は3台から5台である。

大井淳一郎委員 粗大ごみは小野田から行くのか。

木村環境課長 職員がパッカー車やトラック系で行く。民間業者はパッカー車が主体である。

吉永美子委員長 以前は祝日の振替は1日ではなかったか。

木村環境課長 最大でも4日以上開けないという組み方でしてもらっている。

吉永美子委員長 委託料を上げたのか。

木村環境課長 ここ数年では大きな改変はない。

吉永美子委員長 増やしたときに委託料も増えたということではないのか。

木村環境課長 はい。

吉永美子委員長 相手の好意でしてもらったのか。

木村環境課長 契約に基づいている。

大井淳一郎委員 振替収集が片や1回だけ、片や4回もある。4区と8区だけ突出して多いが、理由は何かあるのか。

木村環境課長 月曜日は祝日の関係でどうしても振替が増える。祝日の月曜日に取ってもらえないか業者と交渉したい。

吉永美子委員長 振替となると会社の職員の面倒は2倍になると考えられるが、日曜日と祝日は休ませると固執しているのか。

木村環境課長 詳しいところは分からないが、1週間のうちに6日間職員を充てるとどこかで休みが生じてくる。

山田伸幸副委員長 山陽地区は週休2日で土曜日は交替でやっているのか。

木村環境課長 月曜日から土曜日までである。体制までは確認していないが、交替しながらだと思う。

大井淳一郎委員 ごみカレンダーの振替日の表示が小さいのを改善してほしい。

木村環境課長 振替日の字を大きくできればいいが、上の部分が大きいほうがいいという意見もある。要望により、休みのお知らせを表と裏で同じにするなど工夫している。字の大きさはスペースが確保できれば検討したい。

大井淳一郎委員 捨てる場所で振替日を周知できないか。今の状況はどうか。

木村環境課長 自治会に任せているのが現状である。班によっては札を付けて振替を知らせているところもある。

大井淳一郎委員 自治会に任せることではないのではないか。不便を掛けているので市が周知するほうがいいのではないか。

木村環境課長 基本的に自治会のステーションは自治会に任せている。自治会に声掛けをお願いするしかない。

恒松恵子委員 山陽地区が午前8時までで小野田地区が8時半までだが、苦情はないか。

木村環境課長 収集時間について大きな苦情はない。いつもより早く収集に行くと苦情を言われることはあるが、原則8時半までということをお願いしている。

松尾数則委員 情報不足が原因と思う。もっと積極的に情報を流していくことが必要ではないか。

木村環境課長 このごみ収集カレンダーが全てである。これ以上の周知はなかなかできないので、個別で説明する程度になる。

山田伸幸副委員長 非常に字が小さいので、もっと見やすく大きくして別に1枚で配ったほうがいいのではないか。

木村環境課長 情報がある程度省くか、用紙を大きくするのか内部で検討して

いる。以前は片面だったが、要望によりごみの種類ごと、月ごとに表裏を使っている。情報量は必要以上に多くなっているが、冷蔵庫に貼れるサイズがいいという声もある。

山田伸幸副委員長 表裏では冷蔵庫に貼ったら片面が見られない。改善の余地があるのではないか。

池田環境衛生センター所長 月別か種類別かは各家庭で利用しやすい面を貼っている。字が小さいからという要望は近年ない。要望を盛り込んだ上でやっている。

杉本保喜委員 ごみ収集カレンダーを年に2回配布するとき、環境センターからのお知らせや苦情処理の例を載せることはしていないのか。

池田環境衛生センター所長 広報の毎月1日号にごみ出しワンポイントでごみの出し方は説明している。自治連が3Rの啓発の班回覧を配る際に一緒になって情報を提供したい。

杉本保喜委員 いつものコラムではなく、皆さんに注目してもらいたいアイデアがあると違うのではないか。

池田環境衛生センター所長 次は3月1日に配布予定なので、QアンドAとかお知らせを班回覧等で配布できるよう検討したい。

松尾数則委員 祝日に山陽地区の収集をしないことに対して、量が少ないから温度が上がらないといった問題はないのか。

木村環境課長 今のところ燃やすのにちょうどいい状況なので、1日飛んだからといって大きな問題は生じていない。

松尾数則委員 問題があるなら祝日も収集できないかなと思って質問をしたが。

木村環境課長 対応してもらえるのであれば、1日でも2日でも多く、祝日に取ってもらうよう話はしたい。

吉永美子委員長 山陽地区4区の12月24日は休日だが、通常どおり収集するというので、協議した結果、改善したのか。

木村環境課長 協議したからこうなったわけではなくて、今までも休日で取れるところについては取っている。今後更に協議を進めて、祝日が多いところを少しでも通常どおりの収集になるようお願いしたい。

吉永美子委員長 2回振替をするより祝日に収集したほうが1回で済むので会社としてはいいのではないか。

木村環境課長 祝日を通常どおり取ってもらえるなら、その方向でお願いしたい。

吉永美子委員長 これまでにはしていないのか。

木村環境課長 通常どおり取っているときも当然ある。事情をもう1回確認し

て、可能ならば祝日でも取ってもらえないかという話はしたい。

大井淳一郎委員 12月24日以外で祝日を取っている日があるのか。

川野環境衛生センター所長補佐 会社ではし尿処理も持っている。し尿処理は1か月計画で、ごみは1週間計画で組んでいる。振替で取るときは、し尿処理をその日は止めて、ごみに回している。1か月の中で祝日が取れるときと取れないときというのが発生してくる。

山田伸幸副委員長 山陽小野田市ではプラスチックを燃えるごみで収集しているが、見直しの考えはあるか。

木村環境課長 プラスチック系をのければ、焼却炉的にも延命化が多少図れる面もあると思うが、ごみの量が少なくなり過ぎるところもある。施設建設当時の判断で、廃プラ関係は燃焼するという話で来ている。

山田伸幸副委員長 燃焼による環境への影響はどうか。

木村環境課長 この施設は最終的に集じん機というバグフィルターも付いているので、環境的には全然問題はない。自分で燃えていく力がないと、逆に灯油代等が高くなってしまう問題もある。

吉永美子委員長 ごみ収集カレンダーは、別府市のようにカラーでカレンダー形式にできないのか。

木村環境課長 カラー表示は検討したことはない。カレンダー表示にすると、これよりも更に小さいものになる。1枚で半年分が済む今のものが一番いいのかなと思う。

吉永美子委員長 カラーだったら見やすくて、分かりやすい。

木村環境課長 予算的な問題もあり、単市でカラー刷りまでは検討していない。

吉永美子委員長 カラーとどちらが見やすいか市民目線で考えてほしい。日程についてはいま一度会社と協議をして、高齢者に負担を掛けないような改善を考えてほしい。

山田伸幸副委員長 ごみ袋は耳が付いているのと付いていない2種類なのか。

木村環境課長 青色が大中小あり、まちなない緑色が特大のみある。

山田伸幸副委員長 特大と言ってもくくとそんなに入らないが。

木村環境課長 45リッターで同じである。上手にくくったら多く入ると言われる方もいる。当時いろいろ話を聞いて、大きい分だけ残そうという話になったと思う。

吉永美子委員長 緑の袋は縛らなくてもガムテープで封をすればいいと聞いたことがあるがどうか。

池田環境衛生センター所長 ごみが散乱しなければいい。

山田伸幸副委員長 2種類の袋の原価は随分違うのではないか。

木村環境課長 生産量に左右されるので、緑が少なければ当然単価は高くなる。

大井淳一郎委員 緑はまだ生産しているのか。

木村環境課長 まだ流通はしている。

吉永美子委員長 宇部市と差があるのは、山陽小野田市の袋が日本製の材料を使っているからだ、以前委員会で聞いたが、間違いないか。

木村環境課長 ごみ袋を作るときの要綱で厚み等の基準は設けているが、どこ製のものでないといけないというのはなかったと思う。ごみ処理手数料を収入証紙に入れた中では平均的ではないか。ごみ袋の需要量の違いもあるので、宇部市と差が出てくるのではないか。

大井淳一郎委員 自主流通を続けるのか入札も検討するのか、現時点での考えはどうか。

木村環境課長 今のところ入札は考えていない。市が価格や在庫を管理するのは難しい。卸売にもし介入したいということであれば、そこに自由に今後は入ってもらい、そこで競争が発生すると思っている。

大井淳一郎委員 3社か4社ぐらい自主流通させている業者があると思うが、作るごみ袋は全く同じものと考えていいのか。

木村環境課長 ごみ袋自体を作る仕様書があり、それに適したものを用意できるか検査し、卸売業者として認められるので、どこで作ろうが同じ程度のものを作っていたらいいかといけない。

恒松恵子委員 ごみに関する市民アンケートは取ったことがあるのか。

木村環境課長 ごみ袋を変えるときに消費者の会などにモニターしてもらい、データを取った。袋が破けたなどの連絡があれば、製造番号から業者に伝える体制を取っている。

恒松恵子委員 ごみ袋の価格は妥当か妥当でないかという声もまた聞いてみたい。

午前 1 時 5 分 休憩

午後 1 時 3 0 分 再開

2 所管事務調査 病院事業報告について

【議事の概要】

①平成30年5月、6月、7月分の患者数、経営状況及び資金繰りの報告

②平成30年6月、7月、8月に開催された経営会議の概要の報告

(詳細は別紙資料参照)

③市民病院清掃業務委託の入札方法、入札結果について

- ・条件付一般競争入札（市内に本社、支店、営業所等を有している業者のみ参加できる）を9月6日に実施
- ・8月14日に入札の公告をし、同時に市民病院と市のホームページに掲載
- ・参加業者は1社のみ
- ・落札業者は(株)サンライズ、金額は4,480万円（税抜き、2年契約）
- ・契約期間は平成30年10月1日から平成32年9月30日まで

【主な質疑】

大井淳一郎委員 6月の材料費が少ないのはなぜか。

藤本病院局総務課課長補佐 在庫管理の徹底と、患者数の増減があるため。

大井淳一郎委員 5月と6月で外来患者が400人以上減っている理由は何か。

藤本病院局総務課課長補佐 産婦人科が少し落ち込んでいる。

矢賀病院事業管理者 診療実日数によって変わってくるが、1日当たりでは4月が412人、5月が417人、6月が396人、7月が414人で、誤差の範囲と考えている。

大井淳一郎委員 平均在院日数はどれくらいを想定しているか。

矢賀病院事業管理者 病院の形態から言えば21日以下であればクリアできる。現在は15日から16日で、余裕がある状況である。短ければ短いほど入院の単価は上がるが忙しくなる。

松尾数則委員 入院患者数が対予算比から見ると少ないが、産婦人科は患者が多いと聞いていたが、順調ではないのか。

堀川病院局事務部長 産婦人科の影響は少ない。昨年度と比較し病床稼働率が4月、5月は落ち込んでいた。8月は86%、9月は85%を超えており、持ち直してきている。

松尾数則委員 入院患者が減少しているということは、時間外などの給与費は下がっているのか。

堀川病院局事務部長 そのとおりである。

矢田松夫委員 白内障の手術を始めたことは患者数に影響しているか。

矢賀病院事業管理者 眼科の手術は8月29日から始めたので、7月分には反映されていない。

吉永美子委員長 順調なのか。

矢賀病院事業管理者 月に一回で二人か三人であるが、来年の予約も入っている状況である。報告であるが、4月から内科の医者が一人減り、稼働率が下がると見込まれる。来年に向け医者を増やす努力をしている。

山田伸幸副委員長 入院単価は幾らか。

藤本病院局総務課課長補佐 7月までの累計で3万6,340円である。

山田伸幸副委員長 目標は幾らか。

藤本病院局総務課課長補佐 30年度の当初予算では3万7,200円に設定している。

山田伸幸副委員長 入院患者を増やすため、地域の医者からの紹介を増やす取組はどうなっているか。

矢賀病院事業管理者 7月、8月に13軒の開業医を訪問した。病院に対する意見の多くは病院のやっている内容が分かりにくいというのがあり、下半期から広報に力を入れる。紹介用紙が使いにくいという意見もあった。これからも訪問を続けていく。

山田伸幸副委員長 市民の安心につながるので頑張ってもらいたい。

大井淳一郎委員 紹介状がない場合、市民病院は選定療養費を取っているのか。

岡原病院局事務部次長 選定療養費は取っていないし、取る予定もない。

吉永美子委員長 病院によって考え方が違うのか。基準があるのか。

堀川病院局事務部長 病床数等で基準がある。

吉永美子委員長 病床数で選定療養費を取る、取らないかを選べるのか。

矢賀病院事業管理者 最初に義務付けられていたのは大学病院等の特定機能病院で、その後、病床数が多い病院は取るようにという指導は入っている。金額は自由に設定できる。市民病院は市民の病院なので、現在考えていない。

山田伸幸副委員長 月の救急の受入件数は幾らか。

藤本病院局総務課課長補佐 救急搬送件数は月に50件から70件ぐらいで、30年4月から8月は317件である。

山田伸幸副委員長 入院にはつながっているか。

矢賀病院事業管理者 具体的な件数は把握していないが、多くは入院していると思う。

大井淳一郎委員 4、5月は6、7月と比較し、過年度未収金が多く医業収益が少ない理由は何か。

藤本病院局総務課課長補佐 前年度2月、3月分が4、5月に入金されるため、30年度は過年度未収金で計上している。6月以降は現年度分については医業収益で計上している。

大井淳一郎委員 4月と6月に計上されている他会計繰入金は何か。

藤本病院局総務課課長補佐 救急医療負担金、保健衛生行政負担金などを1年間掛けて繰り入れる。繰入れの時期は財政課と協議し、決定している。

山田伸幸副委員長 救急搬送された患者の未収金問題は現在もあるのか。

岡原病院局事務部次長 時間外の患者には一律5,000円受領し、後日精算している。中には所持金を持っていない人もいるので、状況に合わせて分納など支払のお願いをしている。

矢賀病院事業管理者 救急に限らず未収金はある。必要なら次回どの程度あるか報告する。

松尾数則委員 病院のPRとしてどのようなものを出しているのか。

矢賀病院事業管理者 年4回市民病院だよりを発行しているが、来年から毎月発行するようにしたい。内容も医療に関することを前面に出すように指導している。

松尾数則委員 経営会議に市長が出席する必要はないか。

堀川病院局事務部長 市長が意見を言いたいとなれば出席できる。前市長は一度出席したことがある。

矢賀病院事業管理者 経営会議の要点は毎月市長に報告しており、認識は共有している。

矢田松夫委員 病床稼働率の目標である86.5%に到達していないが、経営会議で原因を分析しているのか。

矢賀病院事業管理者 分析は難しい。医者が一人減となったのは要因の一つ。7月、8月に患者数が伸びたのは猛暑の影響ではないかと考えている。自然現象により増減する可能性が一番高い。

矢田松夫委員 5月から7月の間に退職者はいたか。

堀川病院局事務部長 薬剤師が一身上の都合により普通退職で辞めている。

矢田松夫委員 薬剤師だけか。

堀川病院局事務部長 資料を持っていないので分からない。

矢田松夫委員 古いホームページと新しいホームページが混在しているのは知っているか。これをどうするのか。

和氣病院局総務課長 以前は市のホームページの中に病院のページがあったが、新病院開院後に市民病院のホームページを開設した。現在の情報は市民病院のホームページに掲載しているが、古いホームページも残っているので、新しいホームページに情報をまとめていきたい。

吉永美子委員長 古いホームページをなぜ残しているのか。

和氣病院局総務課長 全部なくすと以前の情報を探すのに困るのではないかと考え、残していた。時期を見て閉鎖すればよかったが、まだ残っている状態である。

山田伸幸副委員長 経営の状態はマイナスが続いているが、どのような意見が

出ているのか。

矢賀病院事業管理者 患者増加への対策として透析や産婦人科から提案が出されており、経営会議でその情報を共有するようにしている。

大井淳一郎委員 FMサンサンきららをどのように活用しているのか。

和氣病院局総務課長 ピックアップさんようおのだに医師が何度か出演した。

来年の2月、3月にも医師が出演予定となっている。そのほかの活用についても検討している。

杉本保喜委員 近隣市の開業医の訪問予定はあるか。

矢賀病院事業管理者 産婦人科と話をしたところ、宇部には開業医があるので行こうと考えているが、美祢に行くことは現時点では考えていない。戦略的にてこ入れしたい科があれば、訪問することも考えられる。

堀川病院局事務部長 在宅後方支援事業の関係で地域性を考え、宇部市の厚南地区の医院とは契約している。院内に厚南地区の診療所のパンフレットも置いている。

大井淳一郎委員 具体的に病診連携をどう進めていくのか。

矢賀病院事業管理者 詳しい診療内容の広報と地域連携室の充実を考えている。

大井淳一郎委員 小野田保健センターに急患診療所を設置しているが、施設が老朽化している。市民病院の中に設置したらどうかという意見もあるが、協議等を行っているか。

矢賀病院事業管理者 医師会会長から7月ぐらいに1回打診があった。医師会の意見がまとまった時点で話を伺うことにしている。

大井淳一郎委員 勤務医負担軽減計画とはどのようなものか。

矢賀病院事業管理者 医師事務作業補助員（医師クラーク）による事務の軽減や看護師などの他職種が医師に代わり行うことができる業務の検討などである。

大井淳一郎委員 市民病院に特定看護師はいるのか。

矢賀病院事業管理者 認定看護師はいるが、特定看護師はいない。

矢田松夫委員 清掃業務委託の入札について、参加業者が1社の場合は入札を中止すると記載しなかったのはなぜか。

和氣病院局総務課長 業者側で参加の申請をしないという選択もあり、1社の場合は入札をしないと記載していなかった。1社となることを想定していなかった。

大井淳一郎委員 今回入札方式を変えたのはなぜか。

和氣病院局総務課長 これまで市の登録業者を参考に指名競争入札を行っていたが、市に登録していない業者でも参加できるように一般競争入札とし

た。業者に広く門戸を開いた形で入札を実施したと考えている。

大井淳一郎委員 市内業者重視の考えは病院にはないのか。

和氣病院局総務課長 市内に本社、支店、営業所等のある業者が対象である。

大井淳一郎委員 参加業者が1社でも入札を実施した理由は何か。業務に支障があるから急いだのか。

和氣病院局総務課長 入札の公告を見て、業者がどのように判断したか分からないこと、1社のみの場合は入札を実施しないと記載していなかったもので、入札をしないのは適切ではないことから入札を実施した。

大井淳一郎委員 前回の入札に参加した業者に周知はしたのか。

和氣病院局総務課長 一般競争入札であり、誰でも情報を見られるようにしているので、登録業者だけに連絡するということはできない。

山田伸幸副委員長 書類提出まで10日間というのは標準的な日数なのか。予定価格は考えていたのか。

和氣病院局総務課長 長い期間とは言えないと思う。どのくらいの期間を設ければ十分かは難しいと思う。物品、業務関係については予定価格を公表していない。

山田伸幸副委員長 金額はどのように算出したのか。

和氣病院局総務課長 配布書類である清掃業務内訳を基に積算した。

矢田松夫委員 今回落札した業者は市内に営業所があるのか。

和氣病院局総務課長 市の登録業者であり、市内にある。

矢田松夫委員 住所はどこか。(株)サンライズのホームページを見たが、山口支店が宇部しかなかった。

和氣病院局総務課長 手元に資料がないので分からない。

午後2時51分 休憩

午後3時 再開

和氣病院局総務課長 (株)サンライズ山陽小野田営業所は山陽小野田市中川四丁目10番15号である。法人市民税を納付していることを監理室も確認している。

矢田松夫委員 電話帳に載っていなかったが、電話等あるのか。

和氣病院局総務課長 電話番号もFAX番号もある。

矢田松夫委員 病院改革プランに基づき入札のやり方を変えたと認識している。経費削減からいうと長期契約、継続契約が望ましいと書いてあるが、こ

れまでの業者を変えた理由は何か。

堀川病院局事務部長 経費削減の面から広く業者を公募したが、結果的に1社で経費も上がったのは事実である。経費削減のために入札等を行っていくが、今回のことを教訓に今後対応していきたい。

山田伸幸副委員長 入札の応募期間が8月14日から24日で、お盆休みもあり実質的に期間が短い。ホームページは誰が見ても分かりやすい表示となっていたか。

和氣病院局総務課長 ホームページの最初のページに新着情報で載せており、分かりやすいと思っている。市のホームページにも新着情報に掲載していた。事前に入札をいつする等の情報を掲載することも検討したい。

矢田松夫委員 清掃業務は2年前と比べ1,000万円近く高くなっているが、何が原因か。

堀川病院局事務部長 人件費が影響し、上がるだろうと認識していたが、この結果は予想していなかった。

矢田松夫委員 前は業者に連絡して8社が入札した。今回はホームページをたまたま見た1社が入札に参加したということか。

和氣病院局総務課長 前は指名競争入札で、指名業者に連絡した。今回は一般競争入札であり、前回と比較するのは難しいと思っている。

山田伸幸副委員長 市内業者を優先する、これまでの業者に呼び掛けるという考えはなかったのか。

堀川病院局事務部長 市内業者の育成は市の方針と認識している。今回の入札も条件付であり、市内を優先したつもりである。今回のことを教訓に次回更新のときに対応したい。

矢田松夫委員 1社しか入札に参加しなかったことと、1,000万円近く金額が上がったことが問題である。明確な回答をお願いしたい。

和氣病院局総務課長 高くなったのは最低賃金が上がったためで、予定価格も数百万円上がっている。結果として1社のみとなったが、以前の業者がなぜ今回参加しなかったのかは分からない。

吉永美子委員長 1社のみの場合どうするか決めていなかったとのことだが、規定すべきであったとは思わないか。

和氣病院局総務課長 1社のみではよくなかったのではないかと考えている。次回検討したい。

山田伸幸副委員長 最低制限価格を公表しないのはなぜか。

和氣病院局総務課長 最低制限価格は設定していない。

矢田松夫委員 受付期間を10日間にしたのはなぜか。

和氣病院局総務課長 入札を9月6日に実施するため、逆算して事務手続に要する時間等を考え設定した。

矢田松夫委員 契約の相手先の住所、代表者名等は出さなくていいのか。

堀川病院局事務部長 財務規則により、議会の議決を要する場合は契約書等を出すことによって承認を得るが、これはその対象にはならない。

矢田松夫委員 それは契約金額の問題であり、第99条の2第3項には契約の相手方の氏名及び住所、法人にあってはその名称及び主たる事務所の所在地を公表しなさいとなっている。

堀川病院局事務部長 会社名と金額はホームページで公表している。住所や電話番号等を公表しなければならないとなっていれば、こちらの落ち度であり、速やかに訂正し公表したい。

山田伸幸副委員長 予定価格を答えないのはなぜか。

和氣病院局総務課長 予定価格は市と同様に物品、業務については公表していない。

大井淳一郎委員 今回再委託はどういう形か。

和氣病院局総務課長 再委託の話は聞いていないので、全て(株)サンライズで業務をされると認識している。

山田伸幸副委員長 市民が雇用されるのか。

和氣病院局総務課長 求人広告が出ていたので、この近辺で募集されていると考えている。

大井淳一郎委員 前回と今回で経費の負担区分に違いがあるか。

和氣病院局総務課長 負担区分については変更していない。

矢田松夫委員 改革プランの中で清掃等業務が1年間で2,430万円の見込みだが、今回の金額では経営の改善になっていないのではないか。

堀川病院局事務部長 経営改革は清掃に限らず経費節減を念頭に頑張っている。

大井淳一郎委員 今回の件を検証し、議会に報告してもらいたい。

堀川病院局事務部長 検証し、発表したい。

吉永美子委員長 29年度決算の審査時にあった節電の件も併せて報告をお願いしたい。

午後3時25分 散会

平成30年10月1日

民生福祉常任委員長 吉永美子